

「印旛地域水稲省力化技術研修会」を開催しました

～春作業の省力化を目指して～

印旛農業事務所改良普及課 令和6年2月26日発

水稲生産者が農地集積等により経営規模を拡大するためには、特に労力がかかる春作業の省力化が必要です。そこで、印旛農業事務所では、2月16日に「印旛地域水稲省力化技術研修会」を佐倉市で開催し、水稲生産者等29名が参加しました。

始めに、育苗の省力化につながる「高密度播種苗栽培」及び「リゾケア湛水直は栽培」の2つの技術について、メーカー2社とJA全農ちばから講演がありました。また、農業事務所からは、各技術の管内取組事例について報告しました。参加者の研修アンケートでは、紹介した2つの省力化技術に関して、興味を持った方が約7割、導入検討の方が約4割いました。また、「リゾケアを処理した種子はどこで買えるのか。」など、取組み意欲のある前向きな質問がありました。

農業事務所では、今後も水稲生産者の省力化技術導入に向けて支援をしていきます。



メーカー担当者による講演